

平成26年2月12日

八代市議会 連合市民クラブ
代表 野崎 伸也 様

八代市議会 連合市民クラブ

野崎 伸也 

大倉 裕一 

島田 一巳 

復 命 書

平成26年1月27日（月）～1月29日（水）の3日間、会派行政視察のため、千葉県千葉市・千葉県柏市・神奈川県相模原市へ出張いたしましたので、復命します。

なお、詳細については、別紙のとおりです。

改革クラブ・連合市民クラブ・日本共産党合同先進地視察 報告書

《視察先》

- 1月27日（月）千葉市（千葉県）
焼却ごみ1/3削減について
- 1月28日（火）柏市（千葉県）
議会版のBCP（業務継続計画）について
- 1月28日（火）相模原市（神奈川県）
相模原市森林ビジョン策定事業について

千葉市焼却ごみ1/3削減について

1、千葉市の概要

	千葉市	八代市
面積	272.08 km ²	680.60 km ²
人口	961,749 人	132,26 人
財政力指数	0.97	0.47

・千葉市は千葉県のほぼ中央に位置し、東京都心まで約40kmの地点にある。また、さまざまな交通網の起点として、さらに情報通信網の起終点として要衝の地にある。平成19年には政令指定都市移行15周年を迎え、平成21年3月には、人口が95

万人を突破した。平成21年6月14日に市長選挙が行われ、熊谷俊人市長が初当選し、全国最年少で市長に就任した。現在2期目である。平成24年4月には政令指定都市移行20周年を迎えた。

2、視察の目的

・千葉市は「挑戦！焼却ごみ1/3削減」事業に取り組んでいる。事業年度は平成19度から平成28年度まで。その目的は焼却ごみを1/3（約10万トン）削減することで、清掃工場を3から2に削減し、清掃工場の建設費用等約200億円の削減や最終処分場の延命化を図ることである。本市は「ごみ非常事態宣言」を発令し、減量化・資源化は進んでいるものの減量目標50g/日/人の実現には至っていない。千葉市の先進的な取り組みを研修することで、本市の更なる焼却ごみ減量化の推進に繋げることを目的とした。

以下、視察項目に添ってまとめる。

3、視察項目に添ってのまとめ

①事業の概要

1) 千葉市のごみの分別について

・可燃ごみ、不燃ごみ、資源物、有害ごみ、粗大ごみの5種19分別を実施。:

※プラの回収はおこなっていない。

2) ごみ処理計画を策定。平成19年度に「新しいごみ処理基本計画」を策定した。

内容は、焼却ごみを1/3（10万トン）減らして清掃工場を3つから2つにするというもの。千葉市には現在3つの清掃工場がある。

新港クリーンエネルギーセンター	平成 14 年稼動	1 日 4 0 5 / t (3 基)
北清掃センター	平成 8 年稼動	1 日 5 7 0 / t (3 基)
北谷清掃工場	昭和 52 年稼動	1 日 3 0 0 / t (2 基)

このうち、北谷清掃工場が建て替えの時期にきているが、その費用は建設費 1 8 2 億円、維持管理費 6 . 4 億円/年と見込まれている。ごみを削減することにより、この費用が節減され、節減された費用は、子どもの育成・教育や福祉など必要な分野に使うことができる。また、最終処分場の延命化が図られる（今のままでは 2 0 1 9 年で満杯になる）

そのために、啓発事業、小学生を対象とした普及・啓発事業、「ちばルール」の普及・拡大、収集体制の合理化、古紙・布類の再資源化の拡充、生ごみ分別収集特別地区事業の実施、事業所ごみの分別の徹底、生ごみ・剪定枝の排出抑制推進、剪定チップ機の貸し出しなどに取り組んでいる。（*事業の具体的な内容は添付資料参照）

(1) リサイクル等推進基金について（平成 1 0 年 8 月設置）

1) 目的

市民・事業者などへの啓発事業や活動支援事業に活用することを目的として設置。

2) 原資

- ・粗大ごみ処理手数料（全額）
- ・家庭ごみ処理手数料（全額）
- ・寄付金

3) 主な活用事業

- ・焼却ごみ 1 / 3 削減のための啓発事業
- ・生ごみ減量処理機等の購入補助制度
- ・集団回収団体への保管庫等の支援
- ・ごみ処理施策 等

(2) ごみの分別・排出ルールの指導制度について（平成 2 2 年度創設）

1) ごみの分別・排出ルールとは

「決められた日時に」「決められた場所に」「分別して」「決められた容器で」

2) 指導の流れ

※「勧告・命令・過料は平成 2 3 年 4 月 1 日から」適用開始

取り残しごみ	ルールを守らない方	指導後も守れない方	勧告後も守れない場合	命令 1 年以内にルール違反
調査	指導	勧告	命令	過料（2 千円）

※燃えるごみの中に資源物が多く入っている場合も指導等の対象となる。

※「命令」までが数件ある。

※過料はこれまではない。

②取り組みの効果

焼却ごみの削減量の推移（単位：トン）

年度	削減目標	削減実績	累計
18年度	—	—	330,692
19年度	20,000	23,887	306,805
20年度	15,000	14,423	292,382
21年度	15,000	15,089	277,293
22年度	10,000	10,064	267,229
23年度	6,000	2,038	265,191
24年度	2,000	551	264,640

※23年度・24年度は削減目標を未達成

※目標を達成出来ていないため25年度は11,000トンの減量を目標としている。

※平成26年2月から家庭系ごみ手数料徴収制度（ゴミ袋の有料化）を開始する。

その効果を見極めながら新たな施策の実施を検討する。

③市民からの評価

・過去に（平成14年度に）ゴミ袋の有料化について自治会長会へ提案を行った際にまずは「減量化に向けてやるべきことをやってきたのか」「やるべきことをやってからではないのか」という意見をいただいた。それから町内自治会をメンバーに「ゴミ問題検討委員会」を立ち上げ検討を重ねてごみ処理計画を策定した。その後、自治会等を対象とした説明会を平成29年度から平成24年度まで1063回実施し協力と理解をいただいた。自治会数（1063）

- ・駅前やスーパーマーケット店頭でのPR活動は市長をはじめ職員で取り組んでいる。
- ・計画の推進に向けて市民との共有化を図れてきたことが、今回ゴミ袋の有料化についても一定の理解が得られていることにつながっている。

④今後の課題

- ・ゴミ袋の有料化でどのような効果と課題が出てくるのか。

4、主な質疑・意見

Q：人口90万の自治体としてこれだけのごみの減量化事業を推進できるのはなぜか

A：市長をトップとする全庁あげての推進事業に位置づけられている。市長、局長クラスの職員で年一回の本部会議を開催している。

Q：今後の人口増加に対する対応はどのように考えておられるのか

A：人口のピークは27年度と想定している。燃やすごみの半分を占める生ごみのバイオマス化が課題と捉えている。

Q：収集体制の合理化に対する市民の意見は

A：可燃ごみの収集回数を減らして、古紙・布類の収集回数を増やした。

可燃ごみ 週3回⇒週2回 古紙・布類 月2回⇒週1回

市民からは不満の声もあったが、可燃ごみに混入する紙類を資源化することを目的に実施した。結果、古紙・布類の収集量が6000トンから8000トンに増加した。

Q：古紙回収庫の管理は

A：公共施設20箇所に設置している。いつでも入れられるが施錠しており声をかけてもらうことになる。ちなみに古紙の収集量は平成24年度171トンである。

Q：生ごみのバイオマス化について

A：市内4地区(2,760世帯)を対象に生ごみの分別収集特別地区事業を実地している。処理は民間施設である。年間250トン～300トンバイオマス化している。

Q：剪定チップ機の無料貸し出し実績は

A：年間180件の貸し出しを行っている。

Q：焼却灰の再利用は

A：最終処分場をできるだけ延命化するために民間委託で焼却灰からエコセメントへ再生している。放射能が問題となっている。

Q：ごみ袋の有料化が真近かだが不安はないか

A：最近メディアの取材もあり、同じようなことを聞かれるのだが、「不安はない」と答えている。しかし、無いことはない。特に有料指定袋の普及状況が気になるところである。蓋を開けてみないとわからない。

改革クラブ・連合市民クラブ・日本共産党会派合同視察復命書

〔 議会版BCP（業務継続計画）について 〕

○日 時：平成26年1月28日（火）10：00～

○視察先：千葉県柏市

○説明者：助川市議会議員

市議会事務局長外、市長部局



【説明頂いた助川市議会議員】

1 調査事項

- ① 計画作成の検討に至る経緯について
- ② 仮称・災害時の議員行動マニュアルの概要について
- ③ 市長部局との連携について
- ④ 課題について

2 視察及び調査結果

① 計画作成の検討に至る経緯について

- ・柏市議会は、議会基本条例は作らないことで確認している。
- ・議会改革について、基本的には、議会報告会と政治倫理だけは取り組みを進めていない。
- ・議会改革は全会一致を基本としている。
- ・まず、会派での研究段階であること、平成27年8月に改選があることから取り組みの途中であることを理解願いたい。
- ・柏市の人口について、平成23年9月を境に人口減少となっている。
- ・3.11の東日本大震災に伴う、原子力発電所の事故の影響を受け、柏市においても放射線量が高い数値を示す。
- ・柏清風会派の取り組みとして、議員提出議案の検討を行っていた。項目としては、がん対策条例やいじめ・虐待防止条例などあったが、平成23年9月定例会で災害時の対策会議設置要領を柏清風・公明・柏愛の会派合同提案を行った。が、全会一致をみず、見送りとなる。
- ・そのような中、会派提案として、共産党会派が放射能汚染問題などを集中して審議する「特別委員会」設置の提案を議長に提出。
- ・結果、より市民の立場に立ち、共産党の申し入れに賛同。特別委員会の設置となった。
- ・災害は、地域によって異なるものである。以前、つくば市を竜巻が襲ったことがある。
- ・越谷市は、平成23年9月に災害発生時の対応要領を制定。毎年訓練を実施している。
- ・災害が発生したとき、議員は何をしているのか？という声もあると思う。議員としてどう動くのか？議会としてどう動くのか？課題になってくるのではないか。そのことが今回の作成に至る経緯である。

② 仮称・災害時の議員行動マニュアルの概要について

- ・費用は政務活動費を充てる。政務活動費は8万円／月。50万円の予算で、出版社のぎょうせいと共同で進めている。
- ・行動に対する思い込みや、固定化されてはいないかとの疑問がある。より現実合うものを議論して作り上げるために、災害時の議員行動マニュアルでは項目のみ計上し、内容については、空白としている。
- ・例えば、議会開催中に災害が発生した場合、一般質問中であれば質問はどうするのか？他市では、通告を取り下げるとの対応を執った議会がある。柏市議会は、権利を主張するのか、災害復旧を優先するかはこれからの論議となる。

③ 市長部局との連携について

- ・地域防災計画の中に、議会の役割、議員の役割について明確にしたものはない（執行部）
- ・議会としてのスタンスや具体的な取り組みを決めるのが先で、市長部局との連携はその後に対応することとなると考えている。

④ 課題について

- ・柏市にとって、市議会にとって、より市民にとって良いものを築くこと。
- ・災害時は、即断・即決・即対応が必要である。
- ・条例などを創りたいとの打診があればすぐ担当者を配置する。このことが議会事務局の役割と認識している（事務局長）

3 質疑応答

質問：共産党会派の提案に落ち着いた理由は？

答え：柏市にとって何が必要であるかがポイントである。放射線量についての的を得た内容で、必要か不必要か、となると必要であった。

また、放射線対策をやってほしいとの市民の声があったのも事実である。

質問：交渉要件はなぜ二人になったのか？

答え：二人会派からの要望があったからである。

質問：議員行動マニュアル作成の背景を詳しく教えてほしい。

答え：大きく三点ではなかったかと

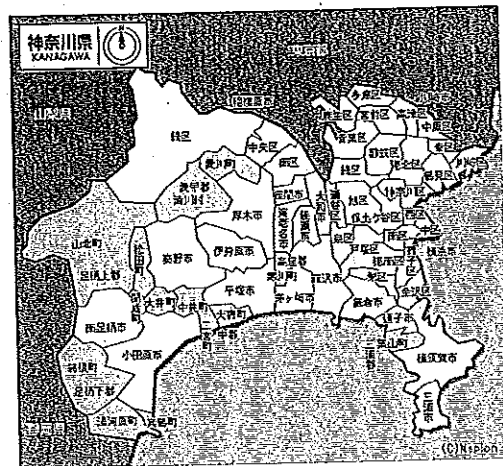
- ① 議員に災害情報が入らない。ルートを確立して情報を共有する目的。
- ② 議員の活動がオーソライズされない。
- ③ 職員サイドから情報を一本化してほしい。議員が職員を捕まえて個人的に災害復旧を依頼すると職員が混乱する。

以上がマニュアル作成の背景にあるもの。

- ◆視 察 日：平成 26 年 1 月 28 日(火)
- ◆視 察 先：神奈川県相模原市
- ◆調査項目：相模原市森林ビジョン策定事業について

1. 相模原市の概要

	最新データ
面積	328.83 km ²
人口	717,544 人
人口増加率	0.9%
財政規模(歳出決算総額)	2,473.7 億円
財政力指数	0.99



神奈川県北部に位置し、東京都心へ 40 km、横浜へ 30 km という首都圏の 70 万都市である。

丹沢大山国定公園などの自然や、相模野の面影を残しつつ、平坦な地形や利便性により、住宅都市、内陸工業都市として成長。06 年、07 年と合併し、10 年 4 月に政令都市へと移行。「防災・減災対策の推進」「次代につなぐまちづくり」「地方分権改革の推進」の 3 点を重要な視点として市政を行われている。

2. 視察の目的

八代市は合併後、広大な山林を抱える事となった。戦後、植林された人工林は伐採時期を迎えているものも多くあるものであるが、林業は木材価格の低迷とその労働の厳しさも相まって、後継者も育ちにくく、衰退の一途を辿っている状況である。

一方、森林の持つ公益性については誰しもが認めるところであり、国土の保全、水源涵養機能、生物多様性の保全、更には二酸化炭素を吸収・固定・貯蔵することによる地球温暖化防止機能などがある。

これらの事を維持していくためには、林業の活性化は是非もないことであるが、なかなか進んでいかないのも現実であり、一般的には林業が盛んではないような、首都圏に近いところでこのような取り組みが行われていることに注目し、八代市に取り入れるべく視察を行った。

3. 調査事項について

1. 「相模原市森林ビジョン」策定に至る経緯について

相模原市は市町村合併により、市域の 6 割が森林になった。また、神奈川県のみずがめを持つ「潤水都市」である。森林は人口林が 5 割であり、その 9 割は伐採適期となっている。このような状況であるが、木材価格の低迷と林業労働者の減少により所有者の管理意識は低下しており、手入れ不足の森林が増加している状況である。

そこで、森林を健全な姿で次世代へ引き継ぐために、長期的な森林の将来像を示し、木材の利活用、森林の公益的機能の発揮、市民全体で支える森林整備体制の構築(連携)について示し、取り組む事とした。

2. 策定後のパブリックコメントについて

意見募集期間は平成22年12月15日から翌、1月19日まで行われた。

提出者は9人で41件であった。

意見は多岐に渡って寄せられており、特に基本方針と基本施策については多くの意見が寄せられており中身は濃いものと拝見した。森林資源に対して注目されており、このビジョンへの期待と、今後の施策について高い期待があるものと同った。

市としてもその考え方について応えられる範囲で丁寧に答えられているのではないかと感じた。

3. 相模原市森林ビジョン実施計画の概要について

現状の認識については確実・的確に把握されており、意識の高さを感じた。

5つの基本方針があるなかで、「木材等の利活用の推進」について取組みが遅れていることから、特にこの分野に注力が必要ということで、実施計画に重点事項を設定されている事を評価したい。

具体的施策を推進することにより、確実に達成する。と明記され、数値目標も具体的に示され、その取り組まれる姿勢は見習うべきものであると感じた。

4. 今後の課題について

実施計画の中心は「木材の利用拡大」であり、推進するうえでは「ストック不足」「情報発信不足」「競争力不足」と認識されており、これらに対する取組みとして、関係者において協議会を結成して実現に向け検討中という事であった。

この取組みについては、説明者はその道に精通している方ではない感じではあったが、その熱意はとても高いものがあり、見習いたいものである。今後に期待したい。

4. 質疑応答

Q：公共施設への利用状況は？

A：23年度に出張所の建設があった。当初は県産材を使う予定であったが、市の木材を使った。小学校の木造校舎、城山に建設した「もみじホール」の腰板、保育園などに使用。

Q：後継者育成は？

A：林業後継者の育成を目的に、県が主催して「かながわ森林塾」が平成21年度に開講した。これまでに70名が受講し20名前後が林業関係に就職している。

Q：ブランド化について

A：地元産材（津久井産材）の特徴（品質・価格など）をどのように作り出すのが課題。また、市内や周辺に加工を担う施設がないために、加工費用がかさみ、製品価格が高くなるという現状がある。他産材との差別化をどのように図っていくのが課題

Q：利用促進について

A：利用希望に対応できるように、25年1月中旬までにストックヤードをつくる計画がある。また、バイオマス発電を考えたいという意見もある。

Q：林業関係予算は？

A：24年度決算で7650万円。県6300万円、市1300万円

Q：市有林等を活用した「市民の森」の整備とは

A：現在、構想や候補地などについて検討委員会が設置されており、2月に答申が出される予定である。事業についてはNPOか民間に委託する。東京都民の森は27億円ほどの予算をかけて整備されているが、そのような大規模な整備が考えていない。

千葉市 焼却ごみ1/3（10万t）削減について

連合市民クラブ 野崎 伸也

【所 見】

事業目的①現状の清掃センター3ヵ所を2ヵ所へ削減し、建替え費用＋維持管理費で約200億円の削減②最終処分場の延命化の確固たる目的があった。

10万tの削減には具体的な施策と市民の協力が必要不可欠となるが、千葉市では29の施策、事業を展開すると共に、1000を超える自治会やサークルに対し、市職員やボランティアを派遣し、ごみ分別の実演を兼ねた説明会を実施しているとのことで、啓発活動に対する『待ちの姿勢』で無い『攻めの姿勢』が伺えた。

また、将来を担う子供たちにも協力をお願いしながら、ごみ出しチェックを行うなど学校教育にごみの減量化策を組み込み、普及・啓発活動の拡大を行っていることに感銘を受けた。

市民への負担を強いる施策・事業であるが、この取り組みによる削減費用は『子どもの育成・教育や福祉などの必要な分野に使う』というインセンティブを持たせているということ。また、取り組みのマンネリ化への対応として『2年に一回は目新しい啓発やアイデアを打ち出している』との話を聞いた。

八代市においても、ごみ非常事態宣言を発令しごみの減量化に取り組んでいる。これまで、市議会において様々な施策の提言も行ってきたが、千葉市と比べたら『見劣りする』に尽きる。

八代市においてまだまだ、実践できる取り組みが多い事や市民に対する啓発も『待ちの姿勢』で無く『攻めの姿勢』をもって取り組んで貰えるように、これからも市議会から呼び掛けていきたいと思う。

八代市民一人当たり50gの減量を達成するために！！

【所 見】

忙し中に、説明や質疑応答に対応いただいた助川市議会議員に感謝したい。また、計画作成に直接的に携わってこられたことから、苦勞話しや今後の展開など生の声を聞いたことを有難く感じた。

災害時の対応マニュアルについては、行政サイドとして作成されているのが普通で、これまで議会がどういった対応をするのか？という所に着眼点は無かったものと思う。

3.11以降、徐々にクローズアップされてきたものと思うが、私自身も東日本大震災後の石巻市役所における活動経験から、災害時に議員が何をしているのか？という市民からの問いもあったし、行政職員からすれば相手をする暇もない時に、議員から個別の対応をお願いされるなど、復旧作業への支障もあったように見えた。そういったことから、マニュアルという一定の線引きが必要と感じていた。

作成にあたっては、議員の総意を必要とするところだが、柏市議会では、議論の積み重ね繰り返しながら議会全体の合議をもって取り組んでいるところに共感すると共に、八代市議会においても、様々な事案における議論が出来る土壌づくりを見習い目指していくことの重要性を再認識させられた。

議会、議員の総意は自治体の発展と住民の幸福量の最大化と思う。議員個々の背負うものは様々かもしれないが、総意の下に議論を重ねられる、結集できる八代市議会になれるように努力していきたい。

神奈川県相模原市 （仮称）相模原市森林ビジョン策定作業について

連合市民クラブ 野崎 伸也

【所 見】

相模原市と八代市は、合併による市域面積に占める森林面積の増加（相模原約6割、八代約7割）という点で同じ境遇にあり、林業における高齢化。それに伴う後継者不足など抱える問題も共通という所であった。

豊かな森林を循環させ継続的に利用し、雇用を生み出し次世代に引き継いでいくためには、相模原市のような20年後、50年後までのビジョンが必要であると思う。また、自治体のみでと言う事でなく、市民や各種団体のあらゆる関係機関関係者の理解と立場に応じた協力が必要不可欠であり、ビジョンの推進にあたり期待する施策を列挙しているところにも共感を感じた。

これからの取り組みと言う事で紹介された『木材のブランド化』についても興味深くきかせてもらったが、今後の展開に期待すると共に八代市でも同様の取り組みが出来ないか検討してみたいと思う。

視察に対する所感

八代市議会議員 大倉裕一

〔 焼却ごみ1／3削減について 〕

○千葉県千葉市

本市もごみ非常事態宣言が宣言され、平成22年度比ひとり50gの削減目標が掲げられたが、17gにとどまっている状況である。

千葉市の取り組みを視察したが、平成14年度ごみ減量を目的にごみ袋の有料化について自治会長に説明・提案が行われ、「行政の取り組みに対する指摘」があったとのことである。自治会長を中心としたごみ問題検討委員会が立ち上げられ、ごみ処理計画が策定されている。

ごみ処理に対するプロセスがしっかりしていることに感銘を受けた。ごみに対し、関心がある方ばかりではなかったはずである。ごみ削減で当然、処理費用が削減される。その費用を教育費や子育てに充当するとの相乗効果の明確化。自治会に対する丁寧な説明。自治会長を巻き込み取り組みを進めた結果、平成19年度から平成22年度まで削減目標を達成できたようである。

平成23年度から削減目標を達成していない状況で、次なる施策を施し、市民の関心を高める必要を感じた。

焼却ごみは減らせば減らした分、処理費用が削減できるものである。本市も清掃センターの処理能力を理由に、平成29年度までは焼却ごみを外部委託する必要がある。ごみ削減は、市民の関心と意識の高まり必要である。再度、行政は自治会や市民ひとり一人に、ごみ削減の必要性を理解していただく取り組みを願いたいと感じる視察となった。

〔 議会版BCP（業務継続計画）について 〕

○千葉県柏市

議会版BCP（業務継続計画）と聞きなれない用語である。緊急事態はいつ発生するかわからない。BCPとは、緊急事態への備えのことを言う。

説明の中で、共産党会派が提出された発議案に対し、その他の会派が賛同をしたとのことであった。耳を疑った。より市民生活の安全・安心のためであれば、提案先がどの会派であれ、賛同しようとの判断であったとのことである。

さて、本市議会はどうだろうかと考えた。特定の組織や団体、各自治体の議会へのばらまきの陳情について、審査を辞めるような提案さえあるような状

況にある。柏市議会の取り組みが本来の姿であろうと考えると同時に、本市議会でも、より市民生活の安全・安心のためであれば、審査を丁寧に実施できるように対応していきたい。

災害時の基本的な取り組みについて整理が進められていた。議員も生活者であり、議員はそれぞれにもう一つの仕事を持っている人もいる。そのような中で、災害時に議員が被災していないのか、周辺地域の被害の状況、議会を開くことになった場合、開催できるのか、執行部に対し、被害の連絡と復旧依頼の一本化など、非常に参考になる視察となった。

〔 相模原市森林ビジョン策定事業について 〕

○神奈川県相模原市

首都圏に近い神奈川県相模原市の森林ビジョン策定事業を視察させていただいた。人間の呼吸や発電などで二酸化炭素を排出している。その二酸化炭素を森林が吸収してくれている。また、水の涵養についても効力を発揮してくれており、私たちが生きる上で、森林とは深い関係がある。しかし、現在では林業で生計を立てることができない状況にあり、森林管理ができていないといっても過言ではないと考える。間伐材の利用や成長した木材の利用等、需要と供給のバランスが取れていないのではないかと。

木質バイオマスをはじめ、木の需要の動きがある。今後に期待したい。相模原市の森林ビジョンは非常に参考とするものであり、今後の八代市の森林ビジョンに参考となるものであった。

むすびに、今後の議員活動を行う中で、視察の内容を十分活かし活動に取り組んでいきたい。また、視察をさせていただいた市民のみなさま、視察を受け入れていただいた各行政の皆さんに感謝したい。

以 上

、 、 、 3 会派合同 行政視察所見 委員名 島田一巳

視察日：平成26年1月27日(月)

視察先：千葉県千葉市

調査項目:焼却ごみ 1 / 3 削減について

焼却ごみ約 1/3 (10 トン) 削減が目標で市民、事業者、市の 3 者が一体となった取り組みである。

市民にわかりやすいガイドブック、また約1050の自治会への説明、小学校4年生の環境学習会、さまざまな活動が実施されています。

平成26年2月1日から始まる、家庭ごみ手数料徴収制度は、ごみを出す量に応じて、手数料を負担していただくしくみです。ごみ処理費用の一部が含まれた指定袋を購入することで、手数料を納めていただく制度です。

市民目線でのごみ対策会議、全庁あげての協力体制が整っており、感銘を受けました。

本市の新環境センター建設に向け、参考にさせていただきたい。

3 会派合同 行政視察所見 委員名 島田一已

視察日：平成 26 年 1 月 28 日(火)

視察先：千葉県柏市

調査項目：議会版 BCP(業務継続計画)について

当市は、首都東京の北東に位置し、千葉県北西部の中心で人口約 40 万人の都市です。

大災害が発生したとき、議会・議員はどのように行動すべきかの検討が進んでいる。

とるべき行動や役割については明確に定められた法令等はないため、近年の大規模災害を教訓とし議会として情報の共有や議員相互に連携して活動を行うことができるよう盛り込んだマニュアルがみられる。

当市は、誰が作ったじゃなく皆さんで作って皆さんで作ったが、基本理念のようでした。

市に、何が必要か、たらないのは何だろうかを考える、議論することに感銘を受けました。

本市も災害時にいかに議員の力を結集できるか、検討し参考にさせていただきたい。

3 会派合同 行政視察所見 委員名 島田一巳

視察日：平成 26 年 1 月 28 日(火)

視察先：神奈川県相模原市

調査項目：相模原市森林ビジョン策定事業について

相模原市の森林は、市民にあまり知られておらず、今後、有効活用するためには、森林と市民の「かかわり」を新たに創造していくことが重要であるとかんがえられています。

市域の面積の約 6 割が森林でスギ、ヒノキ等の人工林が約 5 割、伐採適期を迎えた資源は約 9 割で、木材として利用することを目的として植林されたものです。

木材の価格は年々低下しており、林業の担い手不足、林道等の路網の整備が検討され、また神奈川県には森林塾(勉強会)があり体験コースが約 70 名、就業コースが約 40 名と次世代へと引き継ぎがなされ、長期的な森林の将来へと推進されており感銘を受けました。

本市も同様に森林が多く参考にさせていただきたい。

「会派合同議会報告会」のまとめ

開催日：平成 25 年 11 月 18 日（月）

時 間：午後 7 時から午後 9 時まで

会 場：やつしろハーモニーホール中会議室

出席議員：（改革クラブ） 亀田英雄・矢本善彦・幸村香代子・堀徹男・中山諭扶哉
（連合市民クラブ） 野崎伸也・大倉裕一・島田一巳
（日本共産党） 笹本サエ子

参加人数：42 名

その他：手話通訳あり

質疑・意見

- ① 防災無線のスピーカ設置は各町内 1 個と決まっているのか。
 - ・そのように決まっているわけではない。聞こえ具合によって数を増やしている。
（うちに町内は 2 個つけたとの発言あり）
 - ② ひこいちテレビを利用していたが受信料が高く止めた。市の補助金などはないのか。
 - ・ひこいちテレビは民間の業者なので、個人宅に引く場合に行政から補助金を出すようなことは無いと考えるが、確認する。
 - ③ 防災無線のアナウンスは聞こえづらい。（テープと思われる）工夫がいる。
 - ・要望としてお聞きする。
 - ④ 高速道路の取り付け道路の交通量が多く交通事故も起きている。J R A ができてからは、始まりと終わりの交通量が一気に多くなる。日奈久から南インターの料金が無料のときは取り付け道路の交通量は少なかった。また、無料化にできないか要望したい。
 - ・要望としてお聞きする。
 - ⑤ 河川や排水溝に捨てられたごみが排水機場に流れ着き、その量も多く管理組合としても大変苦労している。その処理に手当てされる予算では足りない。どうにかできないか。
 - ・啓発や、ごみ減量化にむけての取り組みに力を入れていくよう提案したい。
 - ⑥ 地域づくり夢チャレンジ事業はスリーデーマーチ前後に行われるのか。
 - ・そのようなものではない。
 - ⑦ 市民オンブズマンの設置についてどのように考えているのか。
 - ・法律に基づき設置する組織ではない。自治体によっては条例を制定し組織化しているところもあるようだ。その他いろいろな形があるようだが、まず私たちも勉強したい。持ち帰らせていただく。
 - ⑧ 木質バイオマスエネルギー利活用計画事業についての具体的内容について伺いたい。
 - ・事業の詳細を説明。
- 再）「里山資本主義」という本を読んでいるがおもしろい。これからの八代市はバイオマス事業を進めていく必要があると考える。

⑨日奈久のわかたけ保育園は閉園になる。その後の活用について伺いたい。

・持ち帰って確認させていただく。

⑩市長の退職手当の削減は100か0しかなかったのか。何割削減という議論は無かったのか伺いたい。

・出された提案について採決すると賛成か反対しかない。その検討の様子は報告の通りである。しかし、市長は再提案するべきであると私たちは考えている、その時に、何割削減という考え方もあると思う。いずれにしてもこれから引き続き退職手当の削減については働きかけていきたい。

⑪いろいろな事情で塾に行けない小中学校の児童、生徒に先生OBが勉強を教えることを大分でやっている。視察に行つて欲しい。

・参考にさせていただく。

⑫報告会は皆でやつて欲しい。あきらめずに強く働きかけて欲しい。

・これまでの経過を説明した。

⑬宝くじ還元金を活用して、自治公民館を建てた。この還元金を他の町内にも伝えてもらつて活用して欲しい。

・他の町内でも活用している。使えるメニューが多くあるので使いやすい補助金だと思う。しかし県が採択するので申し込みが多いとなかなか当たらない。

⑭年金2・5パーセント削減に反対する意見書はぜひ採択して欲しい。

アンケート集約（回収32枚）

1、 あなたの年代をお聞かせください

20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上
1人	0	2人	2人	15人	11人	1人

2、 あなたの性別をお聞かせください

男性	女性
23人	9人

3、 本日参加された動機をお聞かせください（複数回答）

① チラシを見て	12人
② フェイスブックを見て	1人
③ 議員に誘われて	12人
④ 友人・知人に誘われて	8人
⑤ 広報車の放送を聴いて	0
⑥ その他	議員の後援会ニュースで

4、 本日、参加された感想やご意見をお聞かせください

① 議会報告会構成議員が9名となり力強さを感じた

(特に堀議員。中山議員の改革クラブ加入は大歓迎)

② 本18日報告会は会場一杯で市民の皆様の期待の大きさを感じた。しっかり頑張ってください。

③ 委員会報告は丁度1時間内でまとめられて(挨拶、報告も含めて)よかった。

④ 市長が変わり議会運営もご苦労が多いと思いますが頑張ってください。

・ 良い勉強になりました。

・ 市長の退職金は、0 or 1000 のようですが、市長選等の時にどうされるか、選択をできるように提案したり、または市民や議員等の中から、出来高制として算定されるなど提案されてはどうかと思います。

① 市民は自ら議会に出向いて聴講する機会は少ない。

② 出前報告であるが、市民にとっては議会が身近に感じられて大変ありがたい。

③ 議会運営の困難さが報告の中に見受けられる。

出席者の多数にかかわらず継続することが大事。いつか市民ホールを満杯にすることを目標に頑張ってください。

・ 新人議員さんも新たに加入されて、議会報告会のますますの熱意が感じられました。報告会を開催されるのは毎回たいへんとは思いますが、これからも頑張ってくださいと思います。資料は2色刷り4コマが見やすくよいと思います。

・ 今回、新人議員さんが多数参加されてとても素晴らしいと思います。これからも精力的に頑張ってくださいと思います。

・ 大変内容もわかりやすく良かったと思います。

・ 議会報告会に参加して議会の概要が分かった。

・ 市政の事がとても分かりやすくよかったと思う。広く参加が促進されればよいと思う。

・ 初めての報告会の参加です。議員の方の顔を初めてお見かけしました。皆さん熱心に報告されたのが印象的でした。

・ 紙はもったいない。近いうちに iPad mini を購入しますので次回から PP のデーターをいただける方がよい。

- ・自民党議員も呼んできて欲しい。
- ・続けてほしいと思う。
- ・市からの議会報告を見ても文字列を見るような感じであるが、委員として実際に出席された議員から聞く報告は生身の言葉であり内容が良く分かる。
- ・多くの方に参加出席して聞いていただきたい。
- ・時間が決まっていたせいかわ若干早口であったような気がします。
- ・資料4コマ見やすいOKです。
- ・2色刷り大丈夫です。十分です。
- ・意見質問では皆さん真剣に対処されていたのに感心させられました。
- ・これまでに比べ。はるかに多数参加があつてよかった。
- ・参加者に若い人が0？（若い人の意識の問題もあるかもしれないが）それでも若い人に関心をもてるような働きかけを続けるべきでは。
- ・資料は文字が大きくなり見やすくなってよかった。経費を抑えるために2色刷りも良いと思う。見易さとしては変わらない。
- ・良好
- ・市の状況がわかりやすく解説が良かった。
- ・皆さんよく勉強されていた。これからもしっかり質問して下さい。
- ・大変良いと思います。ポイントとなる部分とそうでない部分のメリハリがあればもっと良いと思います。（時間制限があると思いますので）
- ・初めて参加させて頂きました。今まで、一度もこういう報告会があることさえ知りませんでした。もっと宣伝するべきだと思います。今後とも参加したいと思います。
- ・9月議会（定例会）の予定議案〔内容〕が理解できました。少し解りにくい項目がありました。例えば市長の退職手当の条例の項で「賛成」少数で否決！・・・の解説を加えて解りやすく説明が欲しかった（結果=退職手当を交付することになりました等）
- ・時間の制約もあると思うが、報告内容が早口で分かりづらい面があった。もう少しゆっくりした口調で報告した方がよい。
- ・丁寧に説明がなされ解りやすかった。できれば具体的な課題を掘り下げてあれば尚良い。

- ・初めて参加してよかった。
- ・初めて参加させていただきました。なかなか議会傍聴もできませんのでこの様な報告会に参加し大変よくわかりました。議会傍聴にも時間が許す限り出向きたいと思っております。大変レベルの高い質疑応答でした。
- ・詳しい議会報告いただき一市民として勉強になりました。
- ・資料の経費削減は良いのですが。2色刷りだと文字が読みにくいので工夫が欲しい。
- ・説明が簡潔なのは判る人には良いが。もう少し判り易い説明をお願いしたい。
- ・今まで何回となく報告会をされ、ようやく参加をしました。(機会を作りました)議員の皆さまの親切な報告会に頭が下がります。
- ・会派合同の方たちで通常でも相談意見(要望)を受け付ける窓口を作ってください。

5、 これからの議会報告会で取り上げて欲しいテーマがありましたらお聞かせください。

- ・八代市の借金は何返済は大丈夫ですか？
- ・花火・妙見祭各種催し物費用、その効果は
- ・中心街への補助金は今だかつて効果はない。廃止すべき。
- ・特に中心街の固定資産税の見直し。
- ・八代の企業からの税収は市の収入にどのくらい貢献しているのか。八代はあまり景気は良くないと思うので。
- ・市民に報告することに党の垣根など意味がないと思うので他の議員さんも是非参加して欲しい。
- ・リバースモーゲージ導入は？
- ・住民自治に関する情報が錯綜しています。現時点での進捗状況を正確に知りたいです。
- ・市の道路の交通状況とカラー舗装を検討して下さい。
- ・若い人が八代で就職出来るよう雇用対策を早急に打ち立てて欲しい。
- ・議会への情報の出し方及び要望書の提出する場合の方法の説明。
- ・委員会及び会派で先進地視察がありますが、全項目でなくとも特に本市に関係ある項目につき取り上げて報告して貰えたらいいと思う。

「会派合同議会報告会」のまとめ

- 1 開催日 平成26年1月30日(木)
- 2 時間 昼の部：13:30～15:30 夜の部：19:00～21:00
- 3 会場 やつしろハーモニーホール中会議室
- 4 出席議員 改革クラブ：亀田英雄、矢本善彦、幸村香代子、堀徹男、中山諭扶哉
連合市民クラブ：野崎伸也、大倉裕一、島田一巳
日本共産党：笹本サエ子
- 5 その他 手話通訳あり(午後の部のみ)
- 6 参加人数 昼の部：35名(アンケート28名) 夜の部：13名(アンケート13名)

(1) あなたの年代は？

	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代
昼の部	0	0	1	4	7	13	3
夜の部	1	0	2	1	7	2	0

(2) 性別は？

	20代		30代		40代		50代		60代		70代		80代	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
昼の部	0	0	1	0	0	1	0	4	4	3	10	3	1	2
夜の部	1	0	0	0	2	0	0	1	6	1	2	0	0	0

(3) 参加された動機

項目	昼の部	夜の部
① チラシを見て	11	4
② フェイスブックを見て	1	0
③ 議員に誘われて	9	5
④ 友人・知人から誘われて	3	2
⑤ 広報車の放送を聴いて	1	0
⑥ その他	4	2

その他として、○市議会だよりを見て ○いろんな方から聞いて ○トマト通信を見て ○県政だよりを見て との回答があった。

7 質疑意見

(昼の部)

- ① 国と県との連携を選挙の時に訴えておられた。市長が変わってどうか変わったか？
・具体的に変わったことを紹介する案件は現在ではない。これから、変化があるのではないか。我々も注視していきたい。
- ② 環境センター建設事業の債務負担行為を見送った理由の④番「平成29年度供用開始について建設を急ぐ必要性に対する疑問？」とあるが、どのような意図があるのか？
・我々も発言の内容が、どのようなことを言われたのか真意はわからない。建設を急がなくてもよいじゃないかとの受け止め方もできる。稼働後38年が経過しており、中北町の清掃センターが運転できなくなった場合、14億3000万円が必要となるため、早期の建設を図る必要があると

考えている。

- ③ 環境センター建設事業では様々な制約があるようだが、市長は太いパイプがあると言われた。逆にそのパイプを利用すべきだ。建設を遅らせてはならない。

・われわれも同じ思いである。

- ④ 男女共同参画について

男女共同参画社会の計画が見直されている。1月28日の審議会を傍聴したが、後戻りしているように感じた。見直しの項目も多く、パブリックコメントだけでは対応できない。

・持ち帰りとさせていただきたい。議員活動の中で調査を行い、改めて報告させていただきたい。

- ⑤ 図書館の窓口業務が民間化された。一般市民からの要望・提案があったのか？

図書館が指定管理者制度に変わると聞いた。現状を聞きたい。また、制度導入の検討についても高い見識を持って判断されているのか不安がある。市民の声が活かされるような図書館運営を願いたい。

・図書館の指定管理者制度導入にあたっては、平成22年度に一度議会に提案があり、文教福祉委員会の意見として、図書館のあり方を検討すべきと意見が出され、提案を見送った経緯がある。現在の状況については、持ち帰り状況を把握し、対応していきたい。

- ⑥ 民生委員の退任式に出席し、市長挨拶を聞き、庶民的な人と感じた。あくまでも想像だが、周りの声が市長のかじ取りを左右しないと懸念する。議員・議会には、これまで以上に監視を強くお願いし、さらに活躍していただきたい。

事業仕分けやその評価委員についても縮小されている気がする。結果に対する市役所の対応はどうなっているのか？

・要望に関してはしっかり受け止め、活動していきたい。

・事業仕分けについては、事業に対するひとつの指標としての取り扱いのようだ。事業評価に計上された事業よりも、まだ計上されていない事業に課題を抱えているものがあると認識している。

(夜の部)

- ① 持ち帰り事項を整理して配布してある。この項目の中に、教育格差を是正する取り組みとして、先生の退職者をボランティアでお願いし、学習指導を支援している組織が大分県で行われていることを視察していただきたい旨、要望したが、掲載されていない。どういうことか？

・11月に開催した議会報告会でご提言いただいたことは、はっきりと記憶している。提言については視察先の候補として検討をしている状況である。

・支援が必要であれば、まずは民間で取り組みを進めてはどうか。その後、行政に支援を働き掛けていく方法もあると考える。

- ② 新幹線が夜中の2時半過ぎまで走っていた。どこに訴えるといいのか？

・騒音や振動が問題であれば、市役所の環境課が窓口で対応している。場合によっては、直接、JR九州に直談判することもできる。住民と一緒に議会も活動していきたい。

- ③ 肥薩おれんじ鉄道の補助は何年前から行われているのか？補助額はいくらか？赤字を解消する努力として、どのような取り組みが行われているのか？

・経営状況は設立初年度から厳しい経営状況だったと認識している。補助額については、把握がで

きていない。赤字解消の取り組みとしては、社長を外部から就任させたり、イベント列車、会員制度等取り組みを進められているが、利用客の減少に歯止めがかかっていない状況である。詳しくは調査をしてから返答する。

- ④ 環境センターの建設事業がストップしていると聞く。環境センターの進捗とスケジュールを聞きたい。

・議会報告会の資料に添付していたパワーポイントで、資料に基づき説明を行った。

要望として、中北町の清掃センターの解体についても考慮していただきたいとのご要望をいただいた。

- ⑤ 南部幹線の概要と通す理由について伺いたい。

・南部幹線整備事業については、都市計画道路として計画されたもので、八代市の南北のアクセス道路として期待されている。これまで橋脚を建設してきたが、今回は上部工（渡る部分）を工事するものである。

- ⑥ 清掃センターは税金の無駄遣いではないか！中北町は大変迷惑している。

・市民が生活するうえで、清掃センターはなくてはならない施設であることはみなさん共通認識だと思う。過去、清掃センターの立替えの用地の規模や場所の問題が政争の具となり、市民に迷惑が掛かっている。特に、中北町の地域の皆さんには申し訳なく思っている。

中北町の皆さんには感謝し、迷惑をかけないように清掃センターの健全運転を訴えていきたい。また、環境センターについても、市民に迷惑を及ぼさないよう平成29年度末の供用開始を守るように取り組んでいきたい。

8 参加されての感想や意見

(昼の部)

大変活発な意見が出され、有意義な時間でした。勉強になりました。ありがとうございました。

議会日より一般質問の内容が記載されていますが、紙面が限られています。この報告会は、各種委員会の内容が直ぐに拝聴できます。ただ、内容的に時間が制約されているのが残念です。

出席者が30名足らずで勿体ない。もっと門戸を拡げてほしい。

初めて参加しました。今日の会場に来れるような時間がとれて、議員の方々の忙しい日々を知ること、市民の為に頑張っている事も分かりました。ご自分のお体大事になさってください。期待しております。参加出来て良かったです。

市民会による八代市財政、議会運営の動向を見る上で、議員一人一人の意見がどういう会（改革クラブの方向等）を見る上で、いい機会であったと思います。

議会の結果を各議員さんがわかりやすく説明され、大変良かった。

初参加でした。昼の部の開催は高齢者にとって良いと思います。今後も昼の部の設定をお願いします。

質問が多く出されとても有意義でした。福祉関係の問題をもっとさぐり、議会で取り上げてほしい。
(例えば、障がい者本人はもちろんだが、それを支える家族の支援など)

限られた時間内での説明、ご苦勞様でした。もう少し詳しく具体的に知りたい事もあります。市執行部の説明にも不十分なところがあり、説明責任を果たすよう押さえないところもあります。
今後のご活躍を心から折念しております。

なかなか内容難しいですね。理解できず申し訳ありません。

大いに参考になりました。

丁寧な説明でわかりやすかった。

意見が言えて良かったです。少し安心しました。ありがとうございました。

話しを聞いてみないとわからないから。初めてだから。

各委員会によるスライドにての詳細な説明は良く判断出来ました。

参加者(発言者)も良く理解されていて、参考になる意見や質疑が前回、前々回よりも濃く、今後に期待しています。

前回持ち帰り事項についても、ていねいに答える文書があったのはとてもいいと思った。質疑等でその場では不十分だったと思えるものについても同様にしてもらえるとありがたい。

指定管理者の方も入場者の少ない建物を運営するのは大変だろうと思う。建てるのは簡単、維持が大変(産みの親より育ての親が大切の如く)。どうしても管理者がいなければ、思い切って打ち切るのも一つの手ではないだろうか。

この議会報告会に参加は三回目ぐらいです。以前に比べて、新しい議員さんも入られて、活発になっているのを感じました。また、様々な議員さんの通信も参考になります。もっと参加者が増えれば...と残念にも思いますが、手話通訳のサービスにより、聴覚障がいの方も参加することができて良いと思います。

各委員会からの説明で大体の内容はわかりましたが、oooo間をとり、詳しく説明が欲しい。

(読み取り困難)

久しく今日の説明会を伺って、市政を担当される方々の御苦勞がよくわかりました。時代の成長とその反面、次々に問題も起きているようで、本当に大変だと思います。一市民として、皆様方の建設的なご活躍に心からお礼を申し上げますと共に、期待しています。お身体を大切にしてください。これから八代市の

発展にご活躍されますよう、本日はどうもありがとうございました。

決められた短時間の中で良くまとめられていると思った。

久しぶりに議会報告会に出席しました。八代市議会の動向を知ることができ、出席して良かったと思います。

自民党首長、自民系議員で市政が逆戻りしていることが多くなっている様に感じます。

(夜の部)

発表内容に自信を持って発表を。

あまりの少なさにびっくりです。が、いろんな質問・意見が出て勉強になりました。

市議会の動きがわかってよかった。

①指定管理者制度による施設はいったいどこまで広げるつもりなのか

②市はどこまで拡大するのか。計画を持っているのか疑問→厚生会館、図書館はダメです。

議員が頑張っている報告会の出席者が少ないのは、各議員の選挙母体でも報告会のセンデッセンされては。

文書の棒読み状態であり、非常に聞きづらい。もう少し内容を把握して、わかりやすく説明してほしい。

皆様の努力に感謝いたします。がんばってください。

良好。このまま継続を。

参加された市民もそうですが、報告される議員の方も成長できる催しです。ぜひ続けて下さい。

報告会時間が長い！手短かにおねがいします。市民の共有化するために時間をさいて下さい。

9 議会報告会で取り上げてほしいテーマ

(昼の部)

限界集落、空き家対策を取り上げてほしい。(住民自治の活動)

今後の八代の発展の為に何をなすべきか詳細お聞かせ願えればと思っています。

議員の数が多すぎる。

アーケードをもっと元気を出してもらいたい。

議員の勉強不足を感じました。

これからも議会報告会に期待してます。

(夜の部)

まちづくり協議会が発足して1年たちますが、以前と何も変わりません。一住民には何も見えません。

まちづくり、住民自治って一体何なのでしょう。

住民自治に関することを取り上げてほしい。

フードバレー構想は良いですが、市が県に県立大学生物資源学部設置を提言し、キャンパスを八代市に誘致してみてもいい。

各幹線道路等の予定および進捗状況。

大型工事の今後について

会派合同議会報告会アンケート結果

平成26年2月5日(水)日奈久ゆめ倉庫

Q1. あなたの年代は？

20代	1
30代	0
40代	0
50代	2
60代	10
70代	15
80代以上	0
合計	28

Q2. 性別は？

男性	19
女性	9

Q3. 参加動機は？

チラシを見て	18
フェイスブック	1
議員に誘われて	5
友人・知人に誘われて	6
広報車放送を聞いて	4 ⇒ 日時と場所が不明だった。聞こえなかった？
その他	1

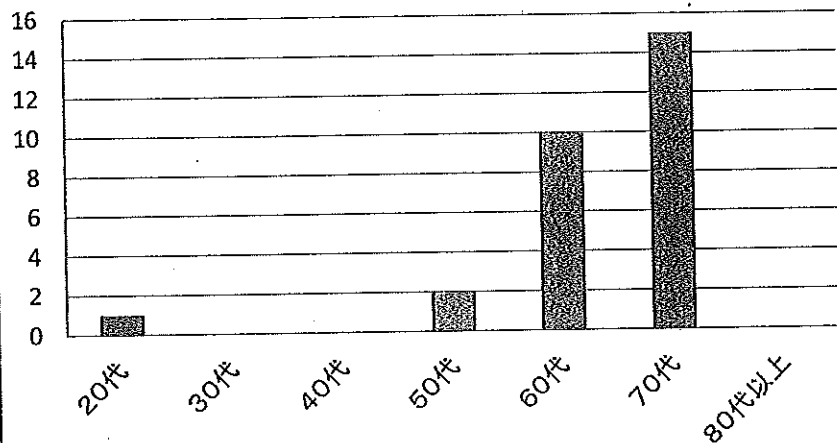
Q4. 感想や意見

- ・議員から直接話を聞いて市政の事が分かりやすかった。よく勉強しているのが分かった。
- ・報告は理解したが、その件に対する問題点を聞かせてもらいたい。
- ・報告時間が短い。苦情を聞く時間も少ない。
- ・有意義だった。もっと多くの人に参加してほしい。
- ・報告は分かりやすいが難しい所もあった。保育園近くを猛スピードで通る車が多い。安全対策を。
- ・広報八代等の文面でなく耳から入ってくる方がより理解できた。地域の声を大にと改めて感じた。
- ・参加者が増えてもらいたい。会派にこだわるべきではない。町人口が減っている市報に反映を。
- ・続けてほしい。有意義だった。
- ・参加議員の市民の声を聴く熱心さを他の議員も見習ってほしいものです。
- ・開かれた議会と言う事では一般市民との交流ふれあいは非常に有益と思う。ぜひ、長く続けてほしい。
- ・裏話もしてほしい。
- ・議員と市民が議論するのは良い事。今後に大きく期待しています。
- ・報告が分かりやすかった。何をしても金が付きまとうのがよく分かった。
- ・報告会お疲れ様でした。今後も続けて下さい。言葉が難しかった。
- ・活発な意見交換で有意義だった。今後も継続して貰いたい。
- ・議会が終わったら開いてほしい
- ・難しい所もあったが、これからなるべく参加して市政を知りたいと思います。頑張ってください。
- ・初めて参加したが市政を少し理解できた。次も参加します。協力しますので議員も頑張ってください。
- ・次も参加したいと思います。議会を知る機会が無かったので興味深く聞かせてもらいました。

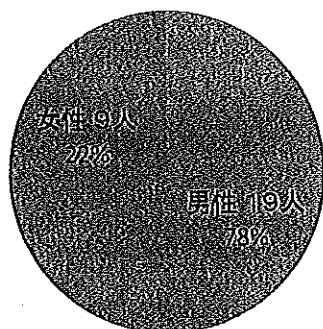
Q5. 今後、議会で取り上げて欲しいテーマは要望含む

- ・住民自治のありかたについて
- ・環境センターの問題点や進捗状況
- ・おもてなしの気持ちが少しあればと思った。
- ・八代以南の活性化を検討して下さい。
- ・少子化対策。大人のMRワクチン等の予防接種(1万2千円もする)安心して子育てできる環境づくり
- ・議員報酬。削減だけが良策でない。よく働いてもらうための報酬であるべきと願う。
- ・要望を聞く会を主とするやり方もうどうでしょうか？
- ・大事な市民税。国からの補助金も血税。使い方は市民が幸せになるような予算編成に。
- ・国道3号線のバイパス化。3号線からばんぺいゆまでの道が狭い。2点を早急に改善を。
- ・町の道路の拡張(緊急車両が入らない)
- ・光ファイバー回線で空家にサテライト事務でプログラム開発で仕事が多くなると思う。
- ・温泉センターまでバスが通る道がほしい

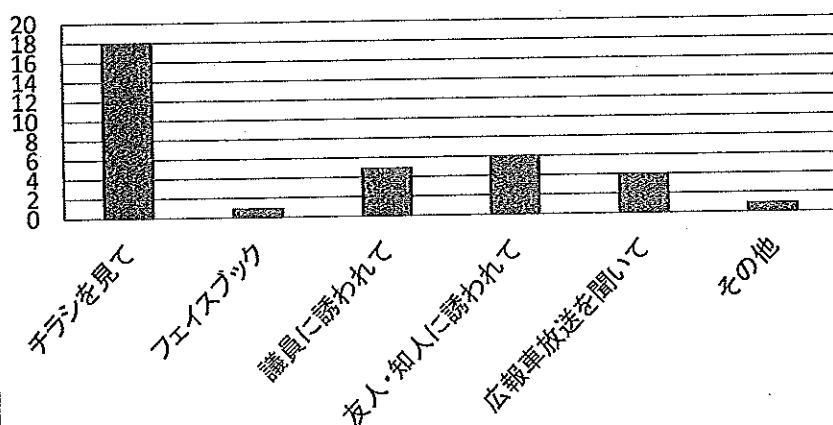
Q1. あなたの年代は？



Q2. 性別は？



Q3. 参加動機は？



要望書

ゆめ倉庫前の船溜まりは係留している船が無いので埋め立てて駐車場にしてほしい。

ゆめ倉庫の駐車場が一杯の時は離れたところにさせている。大型駐車場があれば

旅館も喜ばれる。

親水公園の砂場は西町の波止と浜町の波止をつないで汚い海水が入らない様にしてほしい。

現状は汚く子供達も入れない。きれいになれば魚やエビカニなど色々育ちます。

会派合同議会報告会アンケート結果

平成26年2月5日(水)二見公民館

Q1. あなたの年代は？

20代	0
30代	0
40代	2
50代	2
60代	5
70代	7
80代以上	2

Q2. 性別は？

男性	14
女性	4

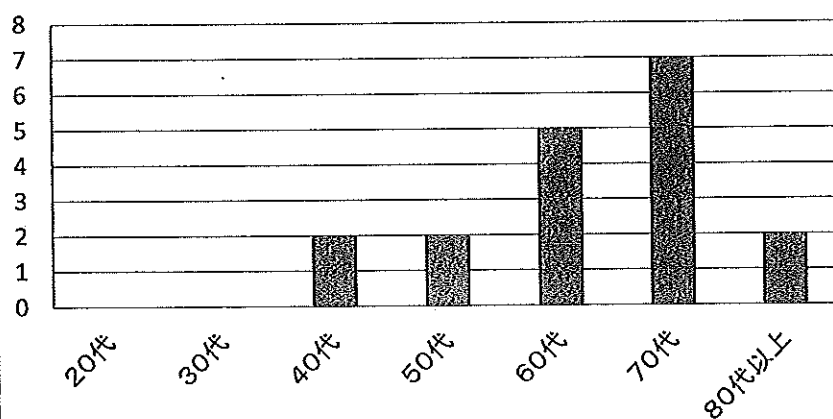
Q3. 参加動機は？

チラシを見て	6
フェイスブック	0
議員に誘われて	2
友人・知人に誘われて	4
広報車放送を聞いて	4
その他	3

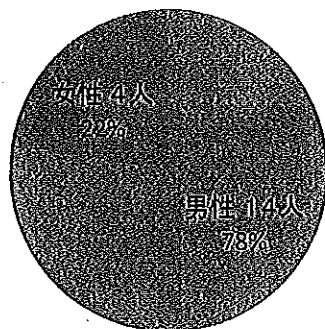
Q4. 感想や意見

Q5. 今後、議会で取り上げて欲しいテーマは？

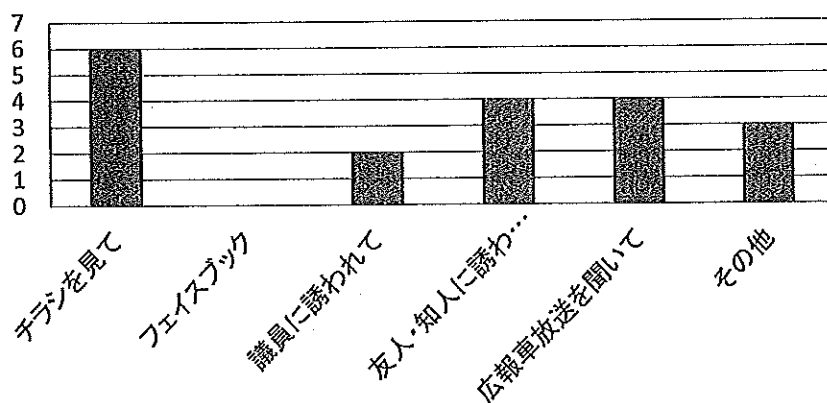
Q1. あなたの年代は？



Q2. 性別は？



Q3. 参加動機は？



(日奈久・二見)

質疑意見

① 市長の退職金はなぜ反対されたのか？

(議会としては条例案に賛成となる)

・これは、市長が立候補されたときの市民との約束である。その約束を果たされる為の条例の提案であったので賛成をした。ハーモニーホールでも3割削減や5割削減といったことでもやるべきだという同様のご意見をいただいている。市長の任期中に再提案されるよう働きかけていきます。

② 一般質問でも取り上げられていたが、南九州西廻り自動車道の開通によって側道の交通量が増え、危険な状態である、側道の拡幅など対策ができないか

・一般質問で取り上げたが予算が伴うことであり厳しいという回答であった。しかし、これからも引き続き対策について働きかけていきたい。

③ ②の関連。側道を一方通行にできないか

・議会でも同様の意見が出されている。個人の意見では対応しにくいということもあるので、町内でまとめて要望をだされるということも必要。

④ わかたけ保育園の活用についてだが、日奈久の活性化、若者の活動の拠点 起業の拠点として活用できないかと思っている。

・活用方法は今後の検討となっている。その時は地域の皆さんの意見も聞くことで進められるので、どのような方法があるのか全体で考えていくべきだと思う。

⑤ ふなだまりの件だが、埋め立てて駐車場として活用できないだろうか。

・行政がこれまでどのように対応してきたのか把握をしたい。持ち帰らせていただく。

⑥ ⑤の関連。駐車場の問題だけでなく、ふなだまりはヘドロの臭いの問題もある。下水道整備など、八代を代表する観光地として日奈久がどうあるべきか、ハード面からソフト面までを考える必要がある。

・ふなだまりの件は校区要望としてあげていただく。これまで日奈久には多額な投資が行われておりその効果がどうであったのか検証が必要。これからは、投資効果が上がる事業を精査して取り組む必要がある。

⑦ 介護従事者の給料を上げてほしい。

・介護保険制度の中で進められている事業であり、八代独自で出来るものが限られている。過去にも介護従事者の待遇改善が考えられたが実現していないのが現状である。しかし、介護が必要な人はますます増えていくので考える必要があると思う。

⑧ 中央ポンプ場の修理について聞きたい

・金額は2,970万円である。電力部分(モーター)の交換が必要になっている。今後、八代市全体のポンプ場の整備計画を立てて進めることになる。

⑨ ふなだまりの件だが、埋め立てて消防水槽を作ったらどうかと思う。日奈久は少ない。また、日奈久の海をきれいにしたいが方法がわからない。二見方面の海はきれいなのに。下水道整備が遅れているのも原因だと思う。

・消防水槽の件はふなだまりとは切り離して考える必要がある。防災上必要ならば整備

すべきものである。ふなだまりの件は先に答えたとおりである。

日奈久の海がきれいであってほしいと思うのは皆の願いであると思う。下水道整備はこのままでは限界があるとして、合併浄化槽などの方法も合わせて考えられていく。

⑩ 排水ポンプ場のポンプ管理の負担金が納得いけない

・地域の実情を把握しないとなんともいえない。持ち帰る。

⑪ ウィンズ八代から日奈久にお金が出ていると聞く。それはどのように使われているのか。

・1年目は2000万円。2年目からは1000万円ある。これは収入として市の一般財源に入っている。使途については制限があり、日奈久の整備活用されている。

⑫ 水道料金が日奈久・二見はトン当たり単価が違うのではないか

・持ち帰る

⑬ 介護保険料について介護認定審査会？介護保険審議会？があるのではないか。この内容が聞きたい。

・個別にお聞きして持ち帰る。

(⑭ 養護学校のバスに高等部の生徒が乗れるようにできないか

・持ち帰る

⑮ 県の中でも熊本県南振興は遅れており、八代の中でも南は薄いと感じる。住民自治は先駆的に取り組んでいるが、高齢化は大きな課題となっている。この高齢化対策は重要だと思う。

⑯ 今後の八代市のグランドデザインを描く必要がある。

⑰ スポーツによって健康でいきいきと過ごすことが出来るのではないかと考えやっている。それが医療費抑制につながる。

⑱ 老人のスポーツ行政に力を入れてほしい

⑲ 住民自治とはそのようなことだと思う。地域に必要なことを自分たちで取り組んでいく。行政はそのために必要な手立てをする。

⑳ 住民自治を進めるにあたって、公民館主事との関係を整理して欲しい。人は必要。

(